石井　重衛　今井　榮一
後藤　隆定　知久　安次
長谷川勝治　北條　裕
正六位に叙する（各通）
相澤　隆也　荒川　盛雄
上原　勉　及川　勝治
田原　麟也　野田　満夫
従六位に叙する（各通）
石川　義幸　岡本　正夫
鈴木　昭七　寺尾　武
正七位に叙する（各通）
従七位に叙する（以上三月十五日）
従四位に叙する
星川　爲美
正五位に叙する（各通）
森　義孝
正六位に叙する（各通）
従五位に叙する
安田　興三
従七位に叙する（以上三月十六日）
従六位に叙する（以上三月十六日）
正五位に叙する
加藤　昭司
正六位に叙する（各通）
従六位に叙する
白井　正夫
正七位に叙する
釋子　了賢
従七位に叙する（以上三月十七日）
従四位に叙する
岩下　篤男
従五位に叙する（各通）
伊藤　文人
正六位に叙する（各通）
（法務事務官）
従六位に叙する
（山形県酒田地区広域行政組合消防司令）
正七位に叙する
後藤　祐喜
従七位に叙する（以上三月十八日）
小林　美典
筈元　茂
山田加太市
今村　正
齋藤　勇市
兵頭　睦幸
鍵田　正彦
渡邊　充生
渡邊　武
美濃谷一義
廣田　浩雄
牧瀬　菊夫
保坂　豊
鈴木　哲也
吉村宗一郎
太田　三夫
呉屋喜一郎
大山　徹郎
赤田　收平
坂本　忠
神里　長英
小原　英昭
永田　謙二
赤塚　明信
山角　光雄
辻　宏雄
鈴枝　昭二
傳法　清孝
松坂　俊司
相澤　隆也
田原　麟也
比嘉　武繁
大川　葦子
田上　俊一
春山　招男
山岸　稔
浅見　貞良
中島　正
田口　雄二
野上　正
中村　光頼
松原　孝信
中山　大造
蛯原　市松　小柴　正雄
野村　武士　萩野　恭
本道　信廣
渡　和彌
後藤　隆定
鈴木　昭七
長谷川勝治
野田　満夫
渡邊　充生
美濃谷一義
安田　興三
杉澤　重雄
梅田　悦志
袖林　邦夫
水田　義臣
荻野紀久男
松本　義文
荒川　盛雄
小林　美典
中川　太一
北條　裕
今村　正
森下　義朋
星川　爲美
牧瀬　菊夫
加藤　昭司　釋子　了賢　鈴木　哲也
瑞宝双光章を授ける（各通）（三月十七日）
伊藤　文人　岩下　篤男
瑞宝双光章を授ける（各通）
（法務事務官）
太田　三夫
（山形県酒田地区広域行政組合消防司令）
後藤　祐喜
坂本　忠
瑞宝単光章を授ける（各通）（以上三月十八日）
小原　英昭
瑞宝単光章を授ける（三月十九日）

皇室事項

御祝電

天皇陛下は、四月十八日ジンバブエ国の独立記念日につき、同月十七日同国大統領閣下へ御祝電を発せられた。

資料

機械受注統計調査報告（平成27年2月）（実績）

内閣府経済社会総合研究所

（調査の概要）

本調査は、機械等製造業者の受注した設備用機械類について、毎月の受注実績を調査したものであり、調査対象は主要機械等製造業者、調査時点は毎月末日である。

昭和62年4月実績より、調査対象社数を202社（うち機械製造業者178社）から308社（同280社）に増加させるとともに、調査内容を拡充した280社ベースの調査に移行した。

平成23年4月調査より、日本標準産業分類の改定（平成19年11月）に準拠して、需要者分類を変更した。なお、公表については季節調整に必要なデータが蓄積されるまでの当分の間、従来の分類と接続可能な移行表章による。この間、新分類による計数は統計表のなかで参考表章する。また、機種分類の「通信機」に含まれていた「携帯電話」を調査対象から外した。

主要需要者別機械受注額

（単位：億円、％）

	平成26年1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	平成26年11月	12月	平成27年1月	2月
受注総額	68,594	78,446	66,785	64,745	20,222	21,960	25,084	24,745
	（4.3）	（14.4）	（−14.9）	（−3.1）	（−10.4）	（8.6）	（14.2）	（−1.4）
	［10.8］	［26.9］	［0.7］	［−1.2］	［−6.1］	［2.9］	［8.2］	［10.8］
需	30,577	27,527	28,930	28,071	8,525	10,014	11,087	9,934
	（6.1）	（−10.0）	（5.1）	（−3.0）	（−10.6）	（17.5）	（10.7）	（−10.4）
民	［18.5］	［2.1］	［3.5］	［−1.9］	［−12.6］	［10.0］	［4.3］	［8.1］
〃（船舶・電力を除く）	25,474	22,824	24,110	24,196	7,880	8,536	8,389	8,356
	（4.2）	（−10.4）	（5.6）	（0.4）	（1.3）	（8.3）	（−1.7）	（−0.4）
	［16.4］	［−0.4］	［2.4］	［−2.6］	［−14.6］	［11.4］	［1.9］	［5.9］